

# 誰もが生きやすい 社会を目指して ～生きづらさに寄り添う現場から～

大北ブロック第1回目の学習会を下記のとおり開催します。  
生きづらさを感じている方々への寄り添い支援の実践をから、地域で、まるごと、わがごととして支えていくとは、どういうことか、一緒にかんがえてみませんか。

開催日時	平成30年8月10日(金)18時45分～20時45分
場 所	大町市総合福祉センター 2階大会議室 (大町市大町1129番地 TEL0261(22)1501)
講 師	八木わたる氏 生存を支える会(仮)代表
対 象	長野県社会福祉士会会員 社会福祉士 長野県介護支援専門員協会大北支部会員 大北圏域在住または勤務している対人援助職種 等
参加費	無料 *申し込みは不要です。

## 【 生存を支える会(仮)とは 】

松本市在住の会員5名を中心に、さまざまな生きづらさを抱え、厳しい境遇に落ち込んでしまった方からの相談事業を行っている任意の団体です。フリーター当事者運動、路上生活者の見回りから始まった活動は、2007年、車上生活中の高齢親子の生存を支える支援を目的に会を結成。以来、約600ケースの支援を行ってきました。その活動は困窮、失業、DV・虐待、障がい、ゴミ屋敷、ひとり親、外国人支援・・・と多岐にわたっています。会の活動費は賛助会費とカンパでまかなわれており、会員は原則ボランティアで活動しています。松本市の暮らしと地域再生プロジェクト・並柳団地プロジェクト等へ参画しています。講師の八木氏は5月31日付の信濃毎日新聞に活動の一部が紹介されました。

《連絡先》 公益社団法人長野県社会福祉士会  
〒 380-0836 長野市南県町685-2 長野県食糧会館 6F  
TEL 026-266-0294 FAX 026-266-0339 メール [info@nacsww.jp](mailto:info@nacsww.jp)

《学習会担当》 大北ブロック 伊藤芳子